

市建設予定施設に関する説明会の実施について（報告）

【背景】

令和元年 10 月 16 日に開催された堺市バリアフリー化検討委員会において、出席委員から、市有施設に関するバリアフリー整備について、建設前に意見交換をできる場が必要ではないかとの意見があり、今後整備される総合防災センターについても話題となった。このため、庁内における調整を経て、当説明会を実施することとなった。

【実施内容】

◆開催日時：令和 2 年 7 月 3 日（金）10 時～11 時 30 分

◆開催場所：堺市役所高層館 20 階 第一特別会議室

◆出席者

【堺市バリアフリー化検討委員会】（4 名）

- ・堺市ろうあ者福祉協会（手話通訳者 2 名）
- ・堺身体障害者福祉協会
- ・堺市老人介護者（家族）の会
- ・堺市老人クラブ連合会

【市側参加者】（14 名）

- ・健康福祉局長寿社会部
- ・消防局総務部
- ・文化観光局文化部
- ・建築都市局建築部

◆案件

- （1）（仮称）堺市総合防災センター整備について
- （2）大仙公園レストハウスの改修工事について

【説明会での質疑事例】

(質問) 総合防災センターにおける「だれでもトイレ」に配置予定のベッドの大きさは大人が横になることができるようなものか。

(回答) その程度の大きさのものを導入できるよう検討する。

(質問) センター内に滞在しているときに災害が起こった場合に、非常灯が点滅する等聴覚障害者に対する配慮はあるのか。必要だと感じているのは、発生した災害の内容や避難行動の方法を館内放送でアナウンスするだけではなく、電子掲示板等に表示することにより、目で見て認識できる設備である。

(回答) ハード面として非常灯が点滅するような設備で対応することに加えて、ソフト面として災害の情報がひと目でわかるような表示を持った職員が知らせて回る等の避難誘導の対応を計画している。ハード面、ソフト面ともに意見を踏まえて検討する。

(質問) だれでもトイレだけでなく、普通のトイレも車いすが入れるか。

(回答) 出入口については、車いすが通れる広さを確保しており、ごみ箱等、邪魔にならないよう配慮する。

(質問) 障害者に対して合理的配慮を提供するのは設置する側の義務であると思うので、ベストを尽くして対応してほしい。

(回答) 行政として予算等の制約があるところだが、その中でもベストを尽くしていきたいと考えている。

【当日の様子】



ユニバーサルデザイン対応箇所図①

・平面詳細図

